



写真・文 タカヤナギユタカ

寄裂携帯ポーチ 2,940円(税込) 素材 麻・絹・綿・水牛の角(ボタン)
工房いとあそび 石川県加賀市大聖寺瀬越町421-1 TEL.0761-73-8768 <http://www1.kagacable.ne.jp/~itoasobi/>

「加賀日和」でも何度か紹介させてもらった大聖寺瀬越町にある、工房いとあそびの人気商品。お姉さんの祥子さんが染め、妹の明子さんが織り。姉妹の共同作業で生み出される優しい作品にはファンが多い。

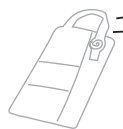
草木染めを持つ、目に優しい自然の色合い、手織りの風合いには女性だけでなく、男性だって好ましいと思うものだが、草木染め、織りの作家さんのほとんどが女性ということもあってか、男性が自分で使うとなると、どうもしつくりこない場合が多いのも事実。

それに、僕は個人的にはポーチとか財布とか、小さい入れ物、袋物というのが基本的には好きではない。その代わりに、ポケットの中は小銭やレシート、ガムにメモ用紙やらとカオス状態。カバンの中も同様だ。要る物、要らない物、

草木染めが持つ、目に優しい自然の色合い、手織りの風合いには女性だけでなく、男性だって好ましいと思うものだが、草木染め、織りの作家さんのほとんどが女性ということもあってか、男性が自分で使うとなると、どうもしつくりこない場合が多いのも事実。

男性のお客さんからの注文で、ライター用のポケットがあったのも作成予定だとか。

工房いとあそびの 寄裂携帯ポーチ



いつか要る(だろう)物が混在している。まあそれも問題ではあるのだが。とにかく僕は、携帯もデジカメもわざわざケースやポーチに入れるのはあまり好きではない。だいたいその辺のショップで売られているケースやポーチに好みのものが見つかったためしがない。

その点、この携帯ポーチはなかなかシックで大人の男性が持つてもオシャレ。

去年、石川県クラフトデザイン協会主催の能登地震のチャリティー展に工房いとあそびが出展する際に企画したこの携帯ポーチ。そのままでは商品としては日の目を見ることがない草木染めのハギレをパッチワークのように組み合わせさせて作られている。だから値段もかなり手頃で、ある意味エコでもある。その代わりに同じ色・柄の組み合わせは二つとできない。ボタンの素材は水牛の角。内側にはバティック(ジャワ更紗)風のプリント綿が使われていて、クッション性にも配慮されている。また、携帯電話だけでなく、デジカメ、タバコケースなどにも使える。

表紙・裏表紙写真:タカヤナギユタカ



大聖寺梅鉢@江沼神社(加賀市大聖寺)

加賀日和 vol.9

CONTENTS

- P30 日本酒。その一滴に出会うまで
- P28 料理日和 かぼちゃ村 アポワン 「日本酒生チョコ」
- P26 立ち寄り湯手形
- P24 温泉に入ろう 松籟荘 千味万彩 山代温泉
- P22 まちのお店屋さん ココット
- P20 南加賀「喰いもん放浪記」 瀬越 竹の浦館
- P10 福梅・梅鉢・天神様
- P06 つくる・人 金明窯 池島直人
- P04 エッセイ「愛しの南加賀」 木田智滋さん
- P03 これが欲しい! 工房いとあそびの寄裂携帯ポーチ